

平成 26 年度

決算 6 会計 を 認定

経常収支比率の推移



決算特別委員会において、平成26年度的一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額270億1367万円、歳出総額267億1301万円とし、歳入歳出差引額は3億66万円となっております。

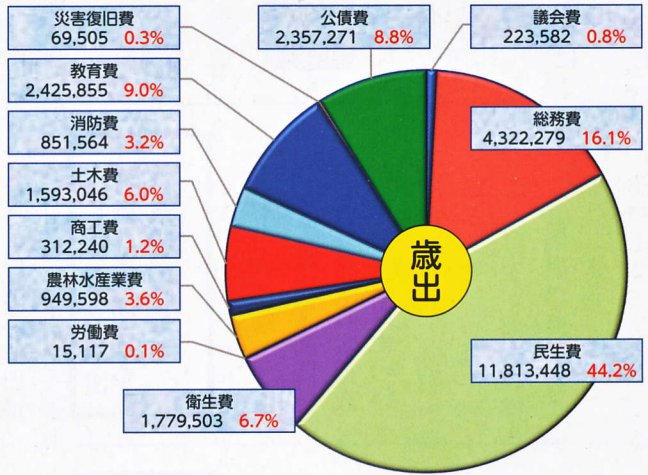
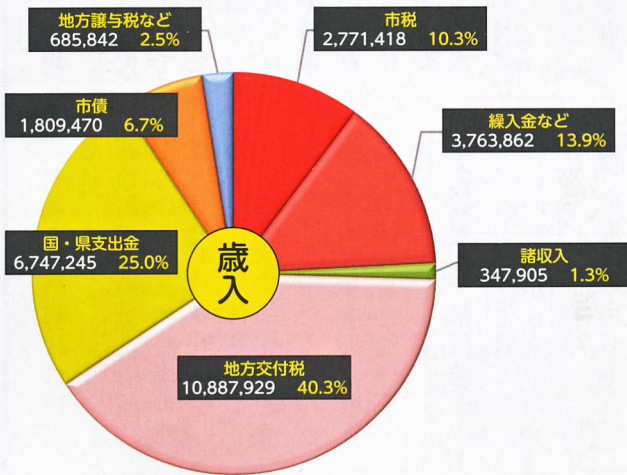
市の財政状況としては、市税などの自主財源が25.5%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が74.5%と、他に頼った自治体運営となっております。

経常収支比率は、93.4%と0.2ポイントの改善にとどまり、昨年とほぼ同水準という結果となりました。

審査の結果、一般会計は不認定、ほか5会計については認定されましたが、その後の本会議において6会計とも認定されました。

一般会計決算の状況

(単位：千円)



各会計の決算額

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	270億 1,367万円	267億 1,301万円	3億 66万円	
国民健康保険事業特別会計	56億 3,410万円	61億 3,799万円	△5億 389万円	
後期高齢者医療特別会計	6億 3,418万円	6億 1,108万円	2,310万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	9,684万円	1,888万円	7,796万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	55億 235万円	53億 6,666万円	1億 3,569万円
	サービス事業勘定	7,096万円	7,096万円	0
水道事業会計	収益的収支	7億 7,963万円	6億 7,948万円	1億 15万円
	資本的収支	1億 2,242万円	3億 179万円	△1億 7,937万円

※国民健康保険事業会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金で、水道事業会計の不足額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。